

MEMBER COMPANY INTERVIEW

Vol. 7

“人が煩わしいと思う事、やりたくないと思う事”を
率先して行う事により、人々に喜びを与え、

世紀を越えた社会貢献企業であり続けます——

この企業理念を、誠実に体現し続けている企業が
フォーシーズ株式会社です。

社名の「4C's」は、ダイヤモンドの鑑定基準である

「カラー」「カラット」「カット」「クラリティー」＝4Cを指し

「ダイヤモンドのように透明で、強く、

周囲に力を与える会社でありたい」

という、静かで、確かな願いが込められています。

フォーシーズ 株式会社

代表取締役社長

丸山 輝

Profile

まるやま・あきら — 1968年、福岡市生まれ。1991年に23歳で古物商を個人創業し、1999年、フォーシーズ株式会社を設立。2001年、33歳で家賃債務保証業に参入し、既存事業の集約を経て、翌年には東京都内へ進出。2004年には業界初のISO取得など、独自の事業展開を通じて、国内に多数の拠点網を持つ現在の事業基盤を築いた。

— シーズアスリートへ熱いご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

こちらこそ、シーズアスリートの皆さんには、いつも勇気をいただいています。弊社では約460名の社員全員が、浦田理恵さん(※1)の著書『一步踏み出す勇気』を手にしています。新入社員には、研修の最終日に渡しました。いつか壁にぶつかった時、悩んだ時に、その行間からヒントを得て欲しい。そんな私の想いがあります。浦田さんの著書『一步踏み出す勇気』、それに『見えないチカラとキセキ』は、どちらも生きていく勇気を与えてくれる素晴らしい本ですね。

— メンバーとの関わりを通じて、どんな思いを感じられていますか。

幾度も弊社の行事等で皆さんに話をさせていただいていますが、工藤力也さん(※2)をはじめ、皆さんとても話がお上手です。努力と信念で壁を克服してきた実体験から生まれる言葉には、力があります。

私や社員にとって彼らの言葉は、自らの立ち位置を思い起こさせることにつながっています。私たちは“社会貢献”を理念に掲げて事業に取り組んでいる企業ですが、営利活動ゆえ、つい利益を上げるための数字にばかり目がいきがちです。しかし、パラアスリートの皆さんとの関わりは、目の前のことにばかりとらわれがちな私たちの目を覚まさせてくれる。我々は本来、何をめざして事業に取り組んでいるのかという“原点”に回帰させてくれるのです。

— 印象的なエピソードがあればお聞かせください。

彼らと出会うまで私は、「そもそもパラアスリートはとてもストイックな生活を送っているのだから、性格的にも厳しい人たちなんだろうな」と勝手に想像していました。ところが、そんなことはまったくなくて、私たちと何ら変わらない方たちばかりでした。

最初に副島正純さん(※3)と会うまで、「きっと聖人のような方だろう」と想像していましたが、何のことはない、やんちゃ坊主がそのまま大人になったような方でした(笑)。浦田さんも美しく聡明な方なので、「ひょっとしたら神経質な方かも」と思っていたのですが、とにかく元気で明るくびっくりするほどの大食漢。しっかりお酒を召し上がった後



先入観が吹き飛ぶほどの メンバーそれぞれの魅力

4C's





メンバーが真摯に 世界で一番をめざす姿に 希望と勇気をもらう

でも、ケロツとして、白杖を頼りに1人で帰られる後ろ姿に、「さすが世界で戦うパラアスリートだな」と驚かされました(笑)。

ー 貴社の皆さんには、どのような影響をもたらすとお考えですか。

世界最高の舞台に日本代表として選ばれるだけでも素晴らしいこと。さらに、そこで世界中のライバルと戦ってメダリストとなるなんて、想像できないほどの大きな価値です。そうした方々に関われることは貴重な経験であり、とても刺激になります。そんな機会をもたらしてくれるのが、シーズアスリートだと受け止めています。

ー 福岡で創業して35年、今では全国に拠点を展開する実力派企業になりました。

私たちはまだ発展途上で、良く言えばベンチャー企業、正直に言えば未成熟な企業です。これから徹底して多くの方々に喜ばれるサービスを提供し、社会への貢献を深めていかなければなりません。

私は23歳で古物商を創業し、一方で不動産業や海外商材の輸入販売リース業などさまざまな事業を手がけました。目先の売上を追いかけるうちにそれぞれ軌道に乗り、それなりに利益を出していましたが、思っていたほどやりがいを感じなかった。やはり事業を手がけるからには“社会への貢

献”を意識しなければ、事業存続も叶わないし、満足感も得られない。何より、社内に理念が根づかないのです。

そう感じていた32歳の時に、家賃債務保証業という事業を知りました。「これは大変な仕事だ。でも、この事業への誠実な取り組みは社会貢献性が高い」と直感し、業態変更を決意したのが2001年のことです。

手がけていた全ての事業を整理して、家賃債務保証業一本に集約して再始動しました。当初から、家賃2万円から数百万円、数千万円の物件まで、また、居住用・事業用などさまざまな案件を引き受けました。また、最初に「これは大都市圏で基盤を築くべき事業だ」と感じていたので、すぐに東京へ進出しました。

ー これまで、どのようなターニングポイントがありましたか。

家賃債務保証業に参入したものの、草創期を経た弊社には、2つの大きな課題がありました。1つは財務、もう1つはコンプライアンスです。この2つの課題をクリアしなければ、やがて間違いなく倒産してしまう。そこで、財務については私自身が徹底的に学び直し、財務パートナーを交代させることで解決しました。そしてコンプライアンスに関しては、採用と教育の体制整備に注力して社内改革を進めました。

ー 具体的には、どのように改革を進められたのですか。

社内変革の一環として、採用戦略を大きく転換させました。

それまでの金融や不動産経験者を中心とした中途採用から、新卒採用へ切り替えたのです。この事業の意義を理解するプロパー社員を、じっくりと育成していく方向にシフトチェンジしました。

また、コンプライアンス強化のため、業界でいち早くISOも取得しました。外部評価を入れることによって、家賃債務保証業が世の中に無くてはならない大切な事業であることを内外に示したい。こうした改革を進めたのが、2007年から2010年の3年間でした。

ー シーズアスリートに賛同していただいたのも、ちょうどこの時期ですね。

本業だけでなく組織として“社会貢献”を体現する選択肢を模索する中、知人から聞いていた副島選手、そして、シーズアスリートとの出会いがありました。シーズアスリートの意義に賛同したのはもちろんですが、何より副島選手に魅了されました。

ー 貴社は、さまざまな点で多様性に満ちた社風だと同っています。

2020年4月の家賃保証に関する民法改正は、私たちの業界にとってある意味で追い風になりました。その中でひたすら、地元密着型で地味に事業を拡げてきた。弊社より売上高が多くて営業力のある企業は何社もあります。一方で弊社は、社内体制や制度、環境の整備などコツコツと社内の作り込みに時間をかけ、地道に事業基盤を築いてきました。家賃債務保証業はクリエイティブで華やかな仕事ではなく、やっている業務は極めて地味です。だからこそ、社員の考え方や取り組み姿勢、また社風などが硬直化したり、マンネリ化したりしないよう、人材の多様性を尊重しながら自由



に楽しく働ける環境を育み、守ることを大切にしています。社内にはLGBTQや障がい者など多様な社員が数多く在籍しています。管理職への昇格に関しても、もちろん年齢・性別・国籍は一切問いません。管理職の4割は女性社員です。特に強調する必要もないほど、すでに多様性を尊重する社風が根づいていますね。

ー 他の法人様にシーズアスリートを紹介いただけたら、どのように伝えてくださいますか。

真っ先にシーズアスリートとの関わりが自社にどのような良い影響を与えるか、弊社の体感をもとに伝えていきたいと思っています。企業の目的は営利活動ですが、お金儲けができればそれで良いわけではありません。同時に“社会貢献”を真剣に考えて事業に取り組んでいる企業様には多くの共感があると思っています。

ー シーズアスリートのメンバーに、何かメッセージをいただけますか。

皆さんの舞台は世界です。世界で一番をめざせる環境はそうそうあるものではない。だからこそ、この環境を楽しみながら世界で一番をめざして欲しい。現実には日々苦しいことばかりなのでしょうが、その過程で必ず人としての成長が得られるはずですよ。

人としての成長の先に、現役引退された工藤さんや浦田さんのような素晴らしい存在がいっぱい。現役中も引退後も、変わらず社会に貢献する人間へと成長できる点が、シーズアスリートの存在意義だと感じています。

私たちはこれまでも、これからも、“社会貢献”を体現し続けることが、自らの使命だと肝に銘じて、事業に取り組んでまいります。

※1 浦田理恵<ゴールボール>
北京2008出場、ロンドン2012金メダリスト、リオデジャネイロ2016は5位、東京2020銅メダリスト。2022年3月に現役引退。

※2 工藤力也<ゴールボール>
2017年3月、日本代表を引退。男子チームヘッドコーチとして東京2020で5位、パリ2024で金メダル獲得へ導く。シーズアスリートリーダー、日本ゴールボール協会 強化委員長。

※3 副島正純<車いす陸上(マラソン)>
アテネ2004銅メダリスト、北京・ロンドン・リオデジャネイロに4大会連続出場。世界各地で開催されるあらゆる国際マラソンでも優勝多数。

 COMPANY's Profile フォーシーズ株式会社 4C's Co., Ltd.	本社所在地 東京本社 / 東京都渋谷区道玄坂1丁目9-3 4C's道玄坂193ビル 大阪本社 / 大阪府大阪市北区梅田1丁目3-1 大阪駅前第1ビル6F 事業項目 ・家賃債務保証業 (ISO9001:2000取得) 【4C'sテナント保証 / 4C's高級賃貸保証】 ・保険代理業
--	--